

選挙のしこりを、行政に持ち込むべきではない

# 市の入札に疑問あり!

日本共産党提出の意見書可決 国に充実求める

# 介護保険料の値上げは困る

浜田市長は市長選挙前(4/12)に開かれた建設業者の会合で、次のような発言をしていました。

「二度もドスをつきつけた。市役所の仕事はいらぬという事でしょ。応援してくれた人にはご恩返しする。これが本当の『公平・公正』だ。」

この市長発言を受けて、選挙後に行われた2件の入札(競輪場正門・前売発売所改築工事、南立石小耐震補強工事)にあたって、市の資格審査委員会(委員長は友永副市長)は入札の参加要件に突然「総合評定値(P点)850点以上」を追加し、A級9社のうち4社が入札に参加できなくなりました。

**【入札に参加できる業者】(P点)**  
 浦松建設(947点)、和田組(939点)  
 三光建設工業(938点)、光綜合工業(899点)、平野工務店(863点)

**【入札に参加できなかった業者】(P点)**  
 長幸建設(844点)、後藤工務店(840点)、幸建設(803点)、ミナモト建設(751点)

**P点(総合評定値)とは**  
 業者の施工能力を点数化したもので、工事実績が点数を左右する最大要因。実績が上がれば点数が上がります。入札に参加できなくなればP点は下がります。



## 伊方原発を考える集い

日本共産党別府市議団は、8月20日、伊方から講師を招き学習会を開きました。

愛媛県の伊方原発は別府から70キロあまり。福島は決して他人事ではありません。

日本共産党は原発を計画的になくそうと主張しています。

**国は介護保険の負担を増やせ**

来々4月、全国的に介護保険料の大幅値上げが予想されています。値上げを食い止めるためにも、9月市議会に日本共産党市議団は「介護保険制度の改善を求めらる意見書」を提出。賛成多数で可決され、国に対し次の4点を求めました。

今後日本共産党の国会議員とも力をあわせてがんばります。

1. 国の介護給付費負担を、当面、現行の25%から30%にまで引き上げること。
2. 保険料、利用料の減免を国の制度とすること。
3. 介護予防を推進し、これに必要な財源を保障すること。
4. 平成23年度末に廃止予定の処遇改善交付金(月15万円分)は廃止せず、保険料や利用料アップにつながらないような介護従事者の労働条件の改善策を国の責任で講ずること。

## 理由は「施工能力のより高い業者を選定するため」と言うが、 昨年までの工事に、何か問題があったのか

**4年前にも同じことが**  
 前回の市長選挙のあとにも、特定の業者を指名からはずしました。このときは浜田市長も「慎重な運営を心がける」と反省し是正しました。

**裁判でも違法性が確定**  
 昨年4月、青森地裁は「町長選挙での報復で恣意的に指名をはずしたのは違法」と町に3020万円の罰金を命じました。

9月議会で日本共産党議員の「参加要件にP点を導入した意図は何か」との質問に、市は「A級業者に格付けされている業者のうち、より施工能力の高い者が参加できる要件に設定するため」と答弁しました。

しかし、下の表を見てください。昨年までは同じ学校耐震補強工事でもP点850点以下の業者(ゴチック)も工事をしており、日本共産党は「特殊な工事でもなくP点導入の根拠はない」と指摘しました。

	予定価格	落札業者	
【平20】 青山中学校	2億5887万8550円	光綜合工業	
【平21】 中部中学校	7137万5850円	長幸建設	
	境川小学校	9336万9150円	幸建設
【平22】 朝日中学校	7431万9000円	長幸建設	
	緑が丘小学校	7066万9200円	幸建設
	西小学校	7294万6650円	後藤公務店
	鶴見小学校	7446万2850円	光綜合工業
【平23】 南立石小学校	9117万2550円	平野工務店	

↑ すべてのA級業者が入札に参加できていた。  
 ↓ 4社排除

**やっと 普通教室すべてに扇風機がつけます**

日本共産党のえんど久子市議は、小中学校などへの扇風機やエアコンの設置をくり返し求めてきました。

9月市議会では、扇風機設置の予算約1500万円が可決。小中学校の普通教室と特別支援教室すべてに今年度中に扇風機が設置されます。小学校は63%の普通教室が扇風機すらない状況でした。中学校は完了しています。

えんど市議は、幼稚園へ設置を求め、「保育室すべてに来年の夏までに設置したい」と答弁がありました。

しかし、理科室・家庭科室など特別教室には扇風機がありません。今後も教育環境の改善めざしががんばります。



日本共産党市議団は、宮城県にボランティアに行き、6月議会に避難誘導標識の設置など防災の強化を求めました。(写真は塩竈にて)

9月市議会に海拔表示板や津波警戒標識設置のための予算が可決しました。

日本共産党 別府市議団

**げんきニュース**

発行責任者 平野文活  
 別府市石垣西8-2-31  
 2011.10.26  
 No.486

あなたのご意見をお寄せください。  
 TEL.0977-22-6576 FAX.0977-22-6529

別府市議会ホームページで議会の録画が見られます。ぜひご覧ください。

# 住宅リフォーム助成 実施を早く



## 期待しているのには

猿渡（えんど）久子市議は、9月市議会一般質問で、住宅の改修に補助が受けられる住宅リフォーム助成の早期実現を求めました。部長は「協議・検討していく」と答弁。

えんど久子市議は、「3月議会で『積極的に導入に向けて検討したい』と答弁があったが、

## 新年度に向けて協議と答弁

そして「新年度に向けて協議したい」という副市長答弁を引き出しました。

えんど市議は「遅くとも新年度には必ず実施を」と強調し、市長に見解を求め、「新年度に向けて担当課は頑張ってもらっている」と市長より答弁がありました。

めて、今後共みなさんと力をあわせてがんばります。更に世論を広げましょう。



- えんど久子市議は、他にも
- ・市長・副市長などの退職金は半額カットを
  - ・医療費助成制度の充実を
  - ・児童館・子育て支援センターの増設を
  - ・学力の向上、就学援助の充実を
  - ・大型客船レジエンド号や団体客への補助金の経済効果などについても質問しました。

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

遅すぎる津波対策・平野ふみかつ市議が指摘



# 海岸線には避難ビルが必要です

## 危機感が弱い別府

6月議会で平野議員は「仙台市以南の5市町だけで9700人が付近のビルに逃げ込んで助かった。これは宮城県全体の死者数を超えるという報告がある」「大分市などでは避難ビル指定を始めている。別府市は遅すぎる」と指摘し、市当局も「十分協議する」と答えていました。

ところが9月議会を迎えても具体的な動きはありませんでした。

## 大分市は32人のチーム結成

平野議員は「大分市ではすでに、ガイドラインを策定し、地元説明会を開き、候補物件をあげてもらい、市が交渉し、すでに11物件を指定。ビルの入口などに『津波避難ビル』のステッカーを貼り出している。危機管理課に2人の担当者、32人の作業チームを結成して仕事をしている。別府市は遅すぎる。市長自身の危機感が弱いのでは」と指摘しました。

## 県の有識者会議「避難の目安を5分以内に」と警告

報道によると10月8日に開かれた県の有識者会議では、「避難の目安を5分以内」という国の見解を紹介し、「別府湾と周防灘が震源の場合は、すぐに到達が想定される」と指摘されました。

別府市もようやく「年内にガイドラインを作成する」と答弁

この指摘を受けて、別府市もようやく「年内にガイドラインを作成し、津波の危険が予想される関係町内との協議を始める」と答弁しました。



## 防災計画では原発事故も想定を



伊方原発を視察しました。(2011.7.16)

平野議員は「市の防災計画では原発事故も想定すべきだ」と指摘。当局は「市単独では困難」と答弁。

## 来年度は大幅引き下げを 国保税を実現しよう

平野議員は「国保税の負担軽減という市長の公約はどうなるのか」と問いました。市当局は「来年度は、最高限度額の引き上げと中間所得層の引き下げを考えている」と答弁しました。

これを受けて平野議員は「一般会計からのくり入れを増やし、中間所得層だけでなく低所得者の負担も軽減すべき」と強く要求しました。

来年度の税額は来年2月頃提案されます。さらに大幅引き下げの声をあげましょう。



## 市長の問題発言で謝罪を求める

1面でも紹介した、市長選挙告示直前の建設4団体800人が集まった集会での浜田市長の発言について、えんど久子市議は市長に謝罪を求めました。

えんど市議は「露骨な入札に介入する発言だ。業者は仕事

がなく大変な中、選挙で応援しない業者には仕事はやらないという脅しだ。この件での共産党市議団への回答は全く反省がなく居直りの回答だ。市長の資格が問われる。反省を述べるべきだ」と主張しました。

## 「誤解を招いた」との市長答弁を批判

浜田市長は「誤解を招いたということには反省しお詫びする」と答弁。

えんど市議は「誤解を招いたというレ

ベルの問題ではない。こういう考え方自体があつてはならない」と、この市長答弁を批判しました。